

二〇二六年度 総合型選抜(伝道者推薦型) 入学試験問題

(文学部 真宗学科)

(科目名五ツゼ一)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

2025年11月30日(日)

問題 次の文章を読んで、後の問い(問一・二)に答えなさい。

【引用部分は削除しています】

【引用部分は削除しています】

(出典 石川明人『キリスト教と戦争——「愛と平和」を説きつつ戦う論理』(中公新書、二〇一六年))

①この課題文は、出典図書の第三章「聖書における「戦争」と「平和」」の後半にあたる部分である。同章の前半では、「聖書において「戦争」「軍事」「暴力」「平和」はどのように記されているのか」という問いを立て、新約聖書には「戦争」に関して直接的な言及が見られないことが述べられている。

問一、この文章の内容を五〇〇字以内で要約しなさい。

問二、この文章を読んで、宗教者として「他者」と向き合うとはどういうことが、具体例を挙げつつ、六〇〇字以上八〇〇字以内でああなたの考えを述べなさい。

二〇二六年度総合型選抜(伝道者推薦型)入学試験問題

(文学部 仏教学科、歴史学科仏教史学専攻共通)

(科目名:小論文)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

2025年10月19日(日)

次の文章を読んで、後の設問に答えなさい。

【引用部分は削除しています】

(河野真太郎『ぼちちのままて居場所を見つけるー孤独許容社会へー』ちくまリマール新書470、筑摩書房、二〇二四年、二六～二七頁)

問 この文章に対して、あなたの意見を八〇〇～一〇〇〇字で述べなさい。